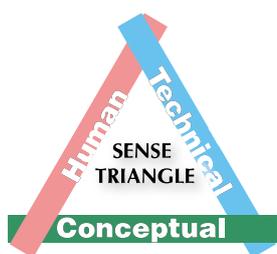


みんなで創る研修所

研修をもっと身近に、もっとみんなで



けんしゅう

令和6年
9月発行

No. **127**

宮城県市町村自治振興センター・宮城県市町村職員研修所
〒981-3341 富谷市成田二丁目22番地1（東北自治総合研修センター内）
TEL:022-351-5781 FAX:022-351-5780 E-mail:moushikomi@thk-jc.or.jp
<http://www.thk-jc.or.jp/sityouson/index.html>

始まります。新規採用職員研修 ～ 全6日程。登壇講師決まる ～

研修所では、採用後半年を迎えた県内自治体（仙台市除く）職員を対象に、新規採用職員研修を開催しています。職員としての心構えや業務遂行に必要な知識・技能を改めて習得することを目指します。市町村長の講話を始め、職場で活躍する指導者の皆さんが講師として登壇します。どうぞよろしくお願い致します。

【令和6年度新規採用職員研修 講師登壇職員一覧】（敬称略・一部略称。9月1日現在）

日程	科目	講話	公務員としての使命	地方自治のしくみ	地方公務員制度	CS理論と接遇
10月1日(火)～ 10月4日(金)	A	加美町長	加藤 駿（登米市） 鈴木聖己（大崎市）	大宮 正（名取市）	佐藤 洋（村田町） 松浦拓磨（大郷町）	高橋美香（登米市） 大平佳矢（涌谷町）
10月15日(火)～ 10月18日(金)	B	富谷市長	川崎博宣（塩竈市） 板橋恵介（多賀城市）	寺田洋一（大崎市）	加藤 満（角田市） 高橋陽子（大崎市）	庄司美香（登米市） 本田幹枝（研修所）
10月29日(火)～ 11月1日(金)	C	塩竈市長	及川英明（石巻市） 吉田伸也（栗原市）	今野泰佑（大崎市）	相澤なぎさ（名取市） 近江隆浩（角田市）	大下敬司（大河原町） 阿部智子（宮城東部衛生処理組合）
11月19日(火)～ 11月22日(金)	D	研修所長	高橋大貴（石巻市） 岡崎恵太（研修所） 早坂 凌（研修所）	三條裕真（多賀城市）	西城寿光（気仙沼市） 芳賀洋介（気仙沼市） 佐藤 操（栗原市）	門間佐代子（大崎市） 佐藤和博（蔵王町） 本田幹枝（研修所）
12月3日(火)～ 12月6日(金)	E	美里町長	菊地佳彦（名取市） 岡崎恵太（研修所） 早坂 凌（研修所）	小湊洋司（角田市）	高橋和広（大崎市） 丹野 修（研修所）	櫻井利和（塩竈市） 佐藤和博（蔵王町） 小野寺優太（研修所）
12月17日(火)～ 12月20日(金)	F	大衡村長	今野庸紘（多賀城市） 高橋宏和（栗原市） 三浦幸司（栗原市）	平山菜緒子（塩竈市）	相澤なぎさ（名取市） 小湊洋司（角田市） 高橋和広（大崎市）	由利真人（山元町） 小野寺優太（研修所） 本田幹枝（研修所）

新規採用職員研修・事前科目検討会で意見交換

各科目の市町村職員等認定指導者の皆さんが、分科会形式で、進め方などを話し合いました。（7月26日）



「CS理論と接遇」での意見交換の様子

「指導者フォロー研修」でブラッシュアップ！

職場の研修指導者として、また講師としての心構えや技法に磨きをかけて本番に備えます。（8月29日）



本番さながら。模擬講義に挑む受講者の皆さん

講師陣。絶賛登壇準備中！

コロナ禍で、縮小していた専門研修。今年度から、従前の規模での運営を目指しています。
4年ぶりの開催となった「政策法務研修」。講師は、岩崎忠さん（白鷗大学法学部教授）。政策法務が求められる背景、公共政策とは何か。行政課題の事例を用い、政策立案の演習を行いました。（8月22・23日）



この日の事例は「ペット霊園の建設を規制するための条例の立案」。課題に取り組む皆さん



政策提案にフィードバックする岩崎教授



研修所 de パチリ! ②

「市町村職員研修運営委員会」を開催



研修所では環境変化に対応した研修事業の企画・検討機関として、市町村等代表者による委員会を設置しています。今年度第1回目の会議を開催し、様々な意見を交換しました。次回は10月を予定しています
(7月24日 会議室)

委員の皆さん（順不同・敬称略）★委員長☆副委員長	
石巻市総務部人事課主幹	千葉 美佳
角田市総務部総務課主幹兼人事係長★	菊地 裕美
多賀城市総務部総務課主幹兼係長	渡邊 健志
大崎市総務部人材育成課主査	石山 晃也
富谷市総務部総務課主査	水戸まゆみ
蔵王町総務課係長 ☆	武田 直樹
亘理町総務課主査	菊池 美穂
大郷町総務課係長	松浦 拓磨
女川町総務課主査	上野さおり
宮城県町村会総務・事業課課長補佐	保科 秀則

(任期 2023.4.1～2025.5.31)

本年4月1日現在

シリーズ【研修事始(けんしゅうことはじめ)】②

「なりたい職員」に ～ 「研修指導者養成研修」のゴール ～

新規採用職員研修が始まる。「本採用」が叶った多くの職員が集い、学び、交流する。この階層別研修では、先輩や上司など、自治体職員が講師を担うのも特徴の一つである。実務を通して、日々研鑽を積む職員講師の講義には、それゆえの矜持が漂う。

だが、講師登壇は目標の一端である。現場においては実践者として「あのようになりたい」姿勢を見せる。さらにその能力をチームに還元する。それが「研修指導者養成研修」の成果、つまりゴールなのだ。

これからも、その機会を提供し、フォロー(支援)し続ける。

調査研究員 本田 幹枝

ご案内・お知らせ

■センター管理者に名取市長

宮城県市町村自治振興センター管理者若生裕俊富谷市長の任期満了に伴い、新管理者に山田司郎名取市長が就任しました。任期は8月28日から2年間です。どうぞよろしくお願い致します。

■メガトレンドセミナー開催

時代の潮流をテーマに行う恒例のセミナーです。年明け1月7日(火)の予定です。詳細は後日ご案内します。

編集後記



■研修所での出会いを通して、世の中「十人十色」だということを今まで以上に感じています。様々な考え方や視点を素直に受け止め、成長の糧にしていきたいと考える今日この頃です(優) ■セミナーに出向いた。「『言葉の含有率』を上げる。それは漢字の変換能力を上げること。そのためには活字を読むこと」がコミュニケーション力には欠かせないと説く。講師は、かの齋藤孝さん。みごとに会場をうならせる(幹)